

作成日：2026.7.27

山の手地区社協「認知症を学び、啓発グッズを作ろう」実施報告

- ・目 的： 認知症の理解を深める機会とするとともに、認知症啓発グッズ作りを通して、認知症を自分ごととして考えるきっかけとする(山の手地区社協地域のボランティア活動の一環として)
- ・日 時： 7月18日(土) 13:00~15:00
- ・場 所： 桜ヶ丘公民館
- ・参加者： 26名
- ・実施内容
 - *出前講座:「認知症とともに」
 - *認知症啓発グッズ作り
 - 認知症サポーターキャラバン・メイトのマスコット「ロバ隊長」のキーホルダー



- ・作業は5グループに分かれて実施した。黙々と作業を進めるグループや、お互いに声をかけ合いながら楽しく取り組むグループなど、それぞれのペースで制作が行われた。また、作業をしながら認知症について話をする様子も見られ、認知症を身近なこととして考える機会となった。地区社協で初めて実施した認知症啓発グッズ作りであったが、有意義な取り組みとなった。完成したキーホルダーは参加者が持ち帰り、身に付けていただくことで、認知症への理解を広げる啓発につながることを期待している。今回の取り組みが他の地区社協にも広がり、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりにつながることを期待したい。
- ・今回の取り組みは、生活支援コーディネーターにより山の手地区社協とのつながりが実現し、新たな認知症啓発活動につながった。